

特別支援教育情報交換会メールニュース

2023年11月号 (Vol.6, No.1)

日本作業療法士協会 制度対策部 保健福祉課 障害児支援班 (教育領域支援推進チーム)

● 日本特殊教育学会でシンポジウムを行いました



2023年8月25～27日、横浜国立大学にて現地とオンデマンド配信のハイブリッド形式で、第61回日本特殊教育学会が開催されました。ご存じの方も多いかと思いますが、この学会は障害児教育の科学的研究の進歩発展を図ることを目的とした、特別支援教育に関するわが国最大規模の学会です。日本作業療法士協会

制度対策部 保健福祉課 障害児支援班 教育領域支援推進チーム (通称：教育チーム) は、国内での作業療法士と教員等との連携事例を調査することや多様で有効な連携を啓発することを目的に、2018年度より継続的にこの学会に参加しています。今年度は、「特別支援教育における作業療法士の多様な連携」というタイトルで自主シンポジウムを行いました。近年、インクルーシブ教育やトライアングル・プロジェクトの推進によって『教育×作業療法』の連携の必要性が高まっています。今回のシンポジウムは、『多様な教育×作業療法の連携』が促進されることを目的に、教員との多様な連携を3名の作業療法士が話題提供し、指定討論者の元文部科学省 特別支援教育調査官の田中裕一氏 (公益財団法人兵庫県青少年本部兵庫県立山の学校長) を加えたディスカッションを行いました。その結果、社会的にも今後は教育×作業療法の更なる連携強化の必要性を再認識することができました。一方で、連携強化するためにも私たち作業療法士自身の準備が大切でしょう。今後も教育チームはこれまで取り組んできた『教育へのOT参画状況調査』『人材育成』『对外活動』を進めていきますので、みなさまからのお力添えをお願いします。



● 【2023年度】学校を理解して支援ができる作業療法士育成研修会【基礎編】の実施状況報告

学校を理解して支援ができる作業療法士育成研修会【基礎編】は、2020年度より協会から各士会へプログラムと研修資料の提供を行っています。2023年度は青森、香川、栃木、群馬、岩手の5士会で開催されています。次年度以降の開催を検討されている士会は、協会事務局までご連絡ください。

主催	青森県 作業療法士会	香川県 作業療法士会	栃木県 作業療法士会	群馬県 作業療法士会	岩手県 作業療法士会
日程	9月9・10日 (終了)	9月23・24日 (終了)	12月2・3日 (予定)	2024年 2月4, 18日 (予定)	2024年 2月24, 25日 (予定)
募集人数	30名(参加数)	26名(参加数)	40名	60名	未定
参加対象	他士会を含む	他士会を含む	栃木県士会員	他士会を含む	他士会を含む
開催形式	オンライン	対面	オンライン	ハイブリッド	ハイブリッド

なお、【実践編】に関しては、オンライン形式でも開催できるように研修資料を再構築中です。完成しましたら、研修会を企画し広報していきたいと思えます。

● 教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会の開催について(お知らせ)

教育チームでは、「学校を理解して支援ができる作業療法士育成研修会」などの人材育成と並行して、教育領域への参画を進めるための方策を検討しています。教育領域への参画には作業療法士が特別支援学校や教育委員会等で「常勤採用」されることが望ましいと考えていますが、その一方で、教育領域への参画の実際は自治体や士会により多様であることが確認されています。そのため、各地域の実情に応じた参画推進のあり方も柔軟に検討することが求められます。こうした背景から、2021年度から、士会担当者同士での情報交換を行い、士会の取り組みを共有するとともに、教育領域への参画の課題についてご意見をうかがう機会を継続的に設けています。今年度の意見交換会の詳細については検討中ですが、以下の日程で予定しております。

【開催予定日時】

2024年1月27日(土) 13:00~17:00(予定)

*参加が難しい場合は、代理の出席者を立ててくださいますようお願いいたします。